

科目名 (科目番号)	基礎看護学援助論 (時間割参照)	教員名	宮下真理子 北島元治 他	学科等	看護	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	演習	オフィスアワー	水曜 昼休み	
授業概要	・看護を実践するための科学的問題解決の方法論としての看護過程を学習する。看護上の問題解決の過程として系統的意図的に判断するステップ(アセスメント・看護診断・看護計画の立案・実施・評価)について、その思考過程を学び、事例に基づきペーパーシミュレーションを行う。 ・既習の知識と技術を統合し、救急蘇生法を習得する。							
目的・目標	目的:看護過程の基礎を学び、看護実践を支える思考過程である看護過程を理解することができる。 目標:看護過程の展開の仕方がわかる。事例を用いて看護過程を展開することができる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	看護過程とは(1)講義	到達目標:看護実践における問題解決法としての看護過程の概要について理解する。 学習内容:看護過程の定義と位置づけ、看護過程発展の歴史、看護理論との関係、看護過程の構成要素と展開について学習する。					
	2	看護過程とは(2)講義						
	3	アセスメントのプロセスと看護診断:講義	到達目標:看護過程のアセスメントについてゴードンの枠組みを用いて理解する。 学習内容:対象の全体像を把握する視点・枠組みとして、ゴードンの機能的健康パターンを学習する。					
	4	アセスメントのプロセスと看護診断:講義						
	5	アセスメントのプロセスと看護診断:講義	到達目標:看護過程のアセスメントについてゴードンの枠組みを用いて理解する。 学習内容:対象の情報を整理・解釈・総合、仮診断するまでの過程を学習する。					
	6	アセスメントのプロセスと看護診断:講義						
	7	アセスメントのプロセスと看護診断:演習	到達目標:アセスメントツールに沿って、クラスター毎に必要なS・O情報を収集し整理する 学習内容:ペーパーペーパーシエント事例を用い、情報の整理について学習する					
	8	アセスメントのプロセスと看護診断:演習						
	9	アセスメントのプロセスと看護診断:演習	到達目標:アセスメントツールに沿って整理した情報の解釈・分析、問題の仮説を推論し仮の看護診断を導く 学習内容:事例の解釈・分析、仮の看護診断までのプロセスについて学習する					
	10	アセスメントのプロセスと看護診断:演習						
	11	アセスメントのプロセスと看護診断:演習						
	12	アセスメントのプロセスと看護診断:演習						
	13	アセスメントのプロセスと看護診:講義	到達目標:看護診断の確定までのプロセスについて理解する。 学習内容:情報の解釈・分析、仮診断から関連図を使い情報を統合し看護診断(看護上の問題)の確定までのプロセスを学習する(関連図、問題の統合・吸収、問題の優先順位)。					
	14	アセスメントのプロセスと看護診断:講義						
	15	アセスメントのプロセスと看護診断:演習	到達目標:仮の看護診断を踏まえ関連図を作成する 学習内容:事例の病態と生活の関連を明確にし、仮の看護診断から関連図作成のプロセスを理解する					
	16	アセスメントのプロセスと看護診断:演習						
	17	アセスメントのプロセスと看護診:講義	到達目標:看護診断の確定までのプロセスについて理解する。 学習内容:情報の解釈・分析、仮診断から関連図を使い情報を統合し看護診断(看護上の問題)の確定までのプロセスを学習する(関連図、問題の統合・吸収、問題の優先順位)。					
18	アセスメントのプロセスと看護診断:講義							

授業計画	19	アセスメントのプロセスと看護診断:演習	到達目標:看護診断の確定。問題の優先度とその根拠を踏まえ問題リストを作成する。 学習内容:病態と生活の関連を明確にし、問題を統合、看護診断の確定、優先度を決定するプロセスについて学習する
	20	アセスメントのプロセスと看護診断:演習	
	21	計画立案:講義	到達目標:期待される結果、具体策の立案の要点を理解する。 学習内容:期待される結果の設定および看護上の問題を解決するための計画立案について学習する。
	22	計画立案:講義	
	23	計画立案:演習	到達目標:期待される結果、具体策の立案について理解する。 学習内容:期待される結果の設定、具体策の立案についてグループで討議する。
	24	計画立案:演習	
	25	看護実践と評価(講義)	到達目標:看護過程の評価について理解する。 学習内容:経過記録の書き方および看護過程の5段階目にある評価について学習する。
	26	看護実践と評価(演習)	到達目標:模擬患者に看護計画を実施し、評価・修正について理解する。 学習目標:模擬患者に立案した看護計画を実践しSOAPで記載・評価する方法を学ぶ。
	27	看護実践と評価(演習)	
	28	看護実践と評価(演習)	
	29	救急時の援助 (1)	学習内容:心肺停止状態にある人の一次救命処置技術をモデル人形を用いて実施する。
	30	救急時の援助 (2)	到達目標:心肺停止状態にある人の一次救命処置を習得する。 (外部講師:土浦消防署員)
成績評価の方法・基準	ペーパーペーシェントでの看護過程展開50%+期末試験50%(期末試験が60%以上に達しているkこと):(対面・オンライン共通)		
教科書	①ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 ②看護診断ハンドブック ③NANDA-I看護診断	①江川隆子 ②カルベニート著、新道幸恵監訳 ③原書編集T・ヘザー・ハードマン、上鶴重美	①ヌーヴェルヒロカワ ②③医学書院
参考図書	必要時紹介する		
教員からのメッセージ	看護に必要な問題解決力の基礎を学びます。臨地実習にダイレクトにつながる科目です。演習は紙上での事例展開を行います。基礎看護学の教員全員(臨床経験豊富な看護師資格を持つ教員)がグループ担当として指導にあたります。看護過程の理解を深めていくためには、みなさん一人ひとりの主体的な学びと地道な努力の積み重ねが求められます。課題を成し遂げていくことによって、とても楽しく自己の成長を実感できる科目です。提出された事例展開については、コメントを付して返却します。29・30回の演習は、土浦消防署の救急救命士が担当します。		